

2012年 6月20日

No.155

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

「実」を採った郵政改革 スタートで松下新大臣に注文

又市副党首は14日(木)、郵政担当となった松下忠洋・新大臣(国民新党)に質問。社民党が09年連立合意以来掲げてきた民営化の是正・国民的統制が、新法でいよいよ具体化します。郵政労働者の身分・処遇の改善も表明させました。

【郵政サービスと国民】又市副党首「新法で国民の監視と津々浦々のサービスが確保されるか」。⇒松下大臣「間違いなく明文化された。確保される」。



【財務一体性】又市副党首「財務上の一体性はどうか。郵便はユニバで構造的赤字要因を抱えるが維持すべし。貯金・簡保からの収益移転が必要だ」。⇒松下大臣「改正法で仕組みを担保した。皆さんの成果だ」。

【郵政労働者】又市副党首「雇用保障と処遇の改善を。特に半数を占める非正規社員は雇い止めや賃下げに遭っている」。⇒松下大臣「正社員化・再雇用・処遇は大事だ。引き継いでいく」。

地方議員に誰もが出られるよう年金制度を

19日(火)は、合併特例債法の延長、過疎地域法の延長、地方議員年金廃止後の代案を川端総務大臣に質しました。

【地方議員年金】又市副党首「年金が昨年廃止されたが、勤労者が立候補するには職を投げ打たねばならず、資産家や社長などしか議員になれない。生活保障は庶民の政治参加・民主主義のコストと考えるべき。附帯決議で一年後に新制度をと求めたのはどうなったか」。⇒川端大臣「大統合後の厚生年金に議員も加入させるか。半額公費だと年170億円必要。ただ議員は職員と勤務形態が違い被用者と言えないなど解決すべき課題がある」。又市副党首「検討し試算を公表して、各党論議を望む」。

【合併特例債の延長】又市副党首「合併誘導には反対した。震災で延長はわかるが、非合併団体も同じだ。延期の必要なケースは？」⇒久本自治行政局長「宮古市は合併新設した3.7億円の診療所が流失。高知県黒潮町は被災でないが、合併庁舎の予定地が低地のため再検討中」。

又市副党首、三選出馬の要請受ける

又市副党首は19日夕、福島党首・重野幹事長から、来年7月の参院選に比例代表で三選出馬の要請を受けました。これに先立ち18日、北信越など3つの党地方ブロックが又市副党首推薦を決め、擁立を党首に求めました。ただ又市副党首は党選対委員長にあり、現在、総選挙が予想される下で、全党の体制づくり、他の候補擁立促進など課題があります。